



泉石蔵

鹿児島市犬迫町 3449-2

1. 1年を通じて温度変化があまりないので、締め切っていれば冬は暖かく夏は涼しい。
2. 地元の農協で穀物庫として使われていた石蔵(昭和4年建設)だったが、道路を改良する際に移動することになり使わなくなっていたものだったから、現在の農産物直売所として使用することになった。
3. 石蔵の建物ということが宣伝になる。
4. 駐車場側の道路からだとも石蔵の感じがより分かる。
5. 特になし。



上 サムシングビル

鹿児島市東千石町 11-14-2

下 プラザホテル天文館

鹿児島市山之口町 7-8

1. 壁面緑化・庭園を監修施工の庭園デザイナー(石原和幸氏)プロデュースによる作品。鹿児島島の四季を感じていただく為に狭い空間を利用し、壁面ながら「縦に庭をつくる」ことで鹿児島島の大自然を表現。
2. 石原氏の作品に感銘し「鹿児島・天文館に緑を」と壁面緑化の制作を依頼した。
3. 季節により植物の彩りや育ち具合も違い、様々に変化するのでいつも新鮮な発見がある。
4. 夏季は日差しを弱い午前中、冬季はポカポカ陽光のあたるお昼間。いきいきとした緑から湧くマイナスイオンを体感していただきたい。
5. 特になし。



ぶらり かごしま かべ Cabé巡り

街を歩いていると植物に覆われた建物や昔から使われている石蔵など、ちょっと気になる建物に遭遇することってありませんか? そんな気になる建物のCabé(壁)に注目してみるとエコなポイントを発見しました。



1. 壁のイチオシポイント。
2. なぜ、その壁にしようと思ったか。
3. その壁にして良かったこと。
4. ビューポイント
5. 壁を観るときの注意点。

DINIZ CAFE

鹿児島市城山町 2-30 石蔵

1. CAFE(ブラジルコーヒー)と石蔵(日本の雰囲気)が不思議とマッチしている。
2. 昭和2年に建てられた住居と石蔵(その後石蔵だけが存続)そのままの石蔵をリフォームしCAFEとして平成23年2月OPEN。
3. 冬は暖かい。
4. 住居と石蔵が繋がっていた事が見てわかるポイントがある。
5. CAFE前の道路が一方通行なので注意して来ていただきたい。



珈琲 門

鹿児島市中央町 19-10

1. ツタに併せて、木があるおかげで緑に立体感が出ている。
2. 30年程前に、鹿児島市が緑化促進のためにツタを配布していたものをもらったため。木は鳥が実を運んできたのか、自然に生えてきた。
3. 夏は暑さを感じないし、大通りで交通量が多いにも関わらず、緑が音を吸収してくれているのか静か。緑が柔らかな印象を与えているので、お客様が入りやすくなっているようだ。
4. いつでも、秋には木に実がなる。
5. 通行する方に迷惑がかからなければ大丈夫。



林ビル

鹿児島市照国町 2-11

1. 甲子園球場の改装工事に伴って刈り取られたツタの株分けがあった際にももらったツタを植えている。
2. 元々雑草として生えていたオオイトビと、後から植えた甲子園球場からのツタが育ってビルを覆った。
3. 夏は緑のおかげで涼しく感じる。
4. 春から夏の時期が良い。
5. 特になし。

マルヤガーデンズ

鹿児島市呉服町 6-5

1. 建物は経年とともに古くなる。しかし壁面緑化は、時間が過ぎ植物が成長することで壁が変化していく。その変化がマルヤガーデンズに来る楽しみにつながればと期待している。
2. 年々育つ植物と同じようにマルヤガーデンズの成長が感じられる館にしたいとの想いから。
3. 日射を遮ることができるので夏の空調効率が高まり、空調を抑えることでエコに繋がる。
4. 新緑のシーズン、生き生きとした植物が青空に映えてとても綺麗。
5. 自然と共に育むものなので気候に影響されるが一生涯懸命手入れをしているので温かい目で見守っていただきたい。

社会福祉法人太陽会 しょうぶ学園

鹿児島市吉野町 5066 番地

(上 nui project もぐらハウス / 下 ポンピ堂)

1. デザインに力を入れている。
2. 外観的に自然に取り込まれる建築を目指して、精神的な面にもナチュラル感と癒しの効果をもたらすように。
3. 温かみのある作りで、お客様にも「おしゃれですね。」と声をかけられる。
4. 時間帯、季節、天気それぞれに風合いがあっている。
5. 関係者以外立ち入り禁止のところがあるので、そこは注意していただきたい。